

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
78	明星大学	基礎環境学 2	西浦 定継 建築学部 教授	2	後期	金	15	9:00～10:30	明星大学 日野キャンパス	若干名

【到達目標】

1) 循環型社会や環境保全に関する基礎知識を修得し、地球的視点に立って環境問題の重要性を理解できる(学習・教育到達目標 a 35%)、2) 環境教育、環境倫理の意義を理解できる(学習・教育到達目標 b 10%)、3) 都市活動と自然とのかかわり、都市計画が環境保全に果たす役割を理解し、説明できる(学習・教育到達目標 d-1 45%)、4) 都市環境保全に関わる課題を抽出し、その背景と具体的内容について協力して調査できる(学習・教育到達目標 f-2 10%)

【授業の概要】

上記の授業計画で授業を行なうので、該当分野の学系専門科目(特に必修科目)のテキスト、配布資料、ノートを参考に予習しておくこと。また、講義、各自でとったノート、配布資料の内容について前述のテキスト等を参考にしながら復習しておくこと。試験は計2回行なう。試験の日程は別途指示する。また、試験のほかに、講義の中でグループディスカッション(アクティブラーニング)を実施し、理解を深める。

【授業内容】

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1. 社会経済システムと環境政策:人口問題 | 8. 都市・地域の環境管理:交通システムの環境負荷 |
| 2. 社会経済システムと環境政策:生活スタイルと環境影響 | 9. 都市・地域の環境管理:生物多様性、里山保全と地域生態系 |
| 3. 社会経済システムと環境政策:経済活動と環境問題 | 10. 都市・地域の環境管理:環境影響評価 |
| 4. 社会経済システムと環境政策:経済的アプローチ、社会的規制によるアプローチ | 11. 環境教育:環境教育、環境学習の推進と効果 |
| 5. 社会経済システムと環境政策:温暖化ガス排出抑制、国際的枠組みによる対策 | 12. 環境教育:環境倫理の意義 |
| 6. 社会経済システムと環境政策に関する演習 | 13. 環境法:公害法から環境法へ |
| 7. 都市・地域の環境管理:土地利用 | 14. 環境法:地球環境保全の法体系 |
| | 15. 基礎環境学の総合演習 |

【成績評価方法】

宿題 30%、2回の試験をあわせて 70%

【教科書、参考書、教材等】

教科書:基礎から学べる環境学/田中修三編著(共立出版)
講義の際に、必要な講義資料を配布する。

※ この授業は、9/18(金)が初回です。